

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	7	学校名	静岡県立伊豆総合高等学校	校長名	日吉 健久
------	---	-----	--------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

総合学科と工業科の併置校として、「課題解決学習」や「ものづくり」など生徒一人一人の個性を大切にしながら多様な体験的・実践的な学習を通して、地域の産業・文化・歴史を理解し、その発展に貢献できる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> 協働的な学びを通して、地域社会の問題に目を向け、地域に貢献できる能力の育成 学習・生活における基礎的基本的習慣や、コミュニケーション能力等、社会的自立に向けた能力の育成 課題解決型の学習を通し実践的スキルを身につけ、多様な進路を実現する能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味関心や進路希望に応じ、学科や教科横断、外部連携等、多様で柔軟な教育課程を編成する 他者と協働する姿勢を培い、社会人としての基礎力と専門的な知識技能を養う教育課程を編成する 課題解決やコミュニケーション、プレゼンテーションスキル等、社会に求められる素養の定着を図る教育課程を編成する 	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会の問題に目を向け、将来地域に貢献する意欲に富む生徒 自分の生き方を真剣に模索し、目標実現に向けて努力を惜しまない生徒 多様な他者を理解、尊重し、協働した学びに向かうことのできる生徒 自分が興味・関心を持つ分野について探究し、進路実現に必要な技能を身につけたいと考える生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 基本的な生活習慣を身につけ、主体的に行動できる生徒の育成。
- イ 学習における基礎基本の定着と主体的な学習活動の推進。
- ウ 人権意識の涵養に努め、思いやりのある豊かな心を育む。
- エ 個に応じたきめ細かな指導の充実と、希望進路の実現。
- オ 地元自治体、学校、企業、地域等との連携を深め、開かれた学校づくりの推進。
- カ 各教科の教育内容の改善を通して、特色ある教育の一層の推進。
- キ 防災教育・環境教育・社会貢献活動の推進及び教育環境の整備・充実。
- ク 業務の効率化・適正化による、生徒と向き合う時間と、安心安全な環境の確保。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基本的な生活習慣を身につけ、主体的に行動できる生徒の育成。	学校生活において、挨拶、時間を守る、頭髪服装の指導を行う。	挨拶、時間を守る意識をもって生活ができた生徒90%以上。服装・頭髪の規定を守ることができた生徒90%以上	学年生徒
		主体的な自己管理・健康管理の啓発	健康面の自己管理をし、欠席・遅刻・早退をしない意識で学校生活を送っている生徒90%以上 朝食摂取率98%以上、治療勧告の受診率50%以上	教務生徒
		交通安全講習実施による安全意識の高揚	自転車交通事故、年3件以内	生徒
		主体性を育む特別活動の充実及び部活動の活性化	学校行事を積極的に行う生徒85%以上、部活動が充実し前向きな活動ができている生徒80%以上	学年生徒
イ	学習における基礎基本の定着と主体的な学習活動の推進。	課題解決型学習、ICT活用等、主体的な学習の推進と一層の授業改善。測定ツールを活用した生徒の学力測定と指導の検証・改善	授業で主体的な力が付いたと感じる生徒90%以上。授業において基礎基本を大切に、深い学びを提供できていると感じる教員90%以上	教務教科
		授業外学習の充実と学習の振り返り、検定試験の積極的受験	週5日以上、授業以外で学習をする生徒の割合60%以上	教務教科
		図書館の有効活用と読書指導の充実	読書の魅力や楽しさを実感できた生徒70%以上	総務

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ウ	人権意識の涵養に努め、思いやりのある豊かな心を育む。	教育相談室・スクールカウンセラー・保健室及び外部機関との適切な連携指導	外部支援員との連携を行い、迅速かつ組織的な対応100%	相談
		人権意識や思いやりの心をはぐくむ教育の充実	人権意識を持って教育活動を行っている教員100% 人権を意識して他者と接するようにしている生徒90%以上	全教員
エ	個に応じたきめ細かな指導を充実させ、適切な進路の実現。	系統的なキャリア教育の推進	学校は進路実現に向けて、きめ細やかな進路指導を行っていると感じる生徒、保護者85%以上 進路指導に必要な外部連携授業を複数回実施する。	進路 学年 教科
		企業研究やインターンシップの実施	商工会、法人会との連携を複数回実施する。 就職希望内定100%	
		各種検定試験・資格取得の奨励	検定試験や資格取得のための学習を通して学びが深まった生徒85%以上	
オ	地元自治体、学校、企業、地域等との連携を深め、開かれた学校づくりの推進。	学科の特徴を生かした地域連携を行い、学びの魅力を外部へ発信する	外部との連携授業を通して学びが深まったと感じる生徒85%以上 教育活動が、自治体や学校、企業、地域等との連携をしていると感じる保護者85%以上	工業 総合
		P T A 活動の活性化	P T A 活動を理解し協力している保護者70%以上	総務
カ	各学科の教育内容の改善を通して、特色ある教育の一層の推進。	工業科の魅力化に向けて、「キャリア設計」、「実習」、「課題研究」等を通じて、専門的な知識技能を養う	工業科目の授業を通して、ものづくりに興味・関心を持ち、専門的な知識技能が身に付いたと感じる生徒85%以上	工業
		総合学科の特色化に向けて、「産業社会と人間」、「未来伊豆探究」の系統的な学びと魅力化	「産業社会と人間」、「未来伊豆探究」の授業を通して、進路意識や地域への理解が深まり、将来社会で必要とされる能力が身に付いたと感じる生徒85%以上	総合
		校内研修と公開授業週間の充実	校内研修や公開授業週間を通してスキルアップに繋がったと感じる教員80%以上	研修
キ	防災教育・環境教育・社会貢献活動の推進及び教育環境の整備・充実。	清掃活動の徹底による良好な学習環境の実現	清掃活動にしっかり取り組んでいる生徒85%以上	生徒
		実行力ある防災教育の充実	避難訓練等の防災教育は、災害発生時に有用だと感じる生徒85%以上	総務 事務
		定期点検の実施、情報共有の徹底 備品現有調査の早期実施	危険個所の早期発見・早期対応により、施設・設備の不備による事故発生0件 設備及び備品の有効活用	
		社会貢献活動（ボランティア活動）の充実	校内外の社会貢献活動（ボランティア活動）に、自主的に取り組んだ生徒70%以上	生徒
ク	業務の効率化、適正化による、生徒と向き合う時間と教職員の心理的安全性の確保。	各分掌、学年、教科等の年間を見通した業務の精選と効率化を図る	自身が関係する業務において、精選と効率化が図れたと感じる教員80%以上 生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員80%以上	全職員 管理職
		教職員間の風通しを良くするため、コミュニケーションの時間の確保	職場の風通しが良く、安全安心な環境が確保されていると感じる教員80%以上	全職員 管理職